

2026年6月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月16日

上場会社名 株式会社ぽすとめいとホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 308A URL [https:// www.postmate-hd.jp](https://www.postmate-hd.jp)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 鈴木 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 栗原 福子 TEL 086(221)1105
 中間発行情報提出予定日 2026年3月31日 配当支払開始予定日 —
 中間決算補足説明資料作成の有無：無
 中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期中間期の連結業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	609	△3.6	39	684.6	35	441.4	33	7.4
2025年6月期中間期	632	—	5	—	6	—	31	—

(注) 中間包括利益 2026年6月期中間期 33百万円(7.3%) 2025年6月期中間期 31百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	141.20	—
2025年6月期中間期	131.48	—

(注) 2025年6月期中間期及び2026年6月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期中間期	745	121	16.4	515.56
2025年6月期	790	88	11.2	374.36

(参考) 自己資本 2026年6月期中間期 121百万円 2025年6月期 88百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期中間期	△12	10	△17	121
2025年6月期中間期	17	△3	△22	145

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	0.00	0.00	0.00
2026年6月期	0.00		
2026年6月期(予想)		—	—

(注) 2026年6月期の配当に関しては未定です。

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,298	2.4	29	△40.9	28	△48.9	25	△57.6	108.38

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期中間期	236,568株	2025年6月期中間期	236,568株
② 期末自己株式数	2026年6月期中間期	—	2025年6月期中間期	—
③ 期中平均株式数	2026年6月期中間期	236,568株	2025年6月期中間期	236,568株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(中間連結損益計算書)	5
(中間連結包括利益計算書)	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	7
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復が見られましたが、原材料価格の高騰や天候の不順による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、岡山市においては、放課後児童クラブの待機児童数解消に向け、市による新たな整備・運営補助金制度の導入をし、2025年12月には、当制度により市の基準を満たして開設された施設について、利用者が安心して利用いただけるよう認定通知書の発行をしました。当社グループも保育事業において、岡山市認定放課後児童クラブのぼすとめいとクラブを昨期3施設(平井、鹿田、伊島)、今期7月に1施設(大元)開設し、地域の子育て環境整備へ積極的に取り組んでおります。

また、保育園の運営では、課題である園児の充足率を高める為、昨期新設した「ヘルプ手当」「異動手当」を引き続き運用することで、社員が働きやすい環境を整え、機動的な保育士配置を実現しております。

上記の結果、当中間連結会計期間(2025年7月～2025年12月)の売上高は609,543千円(前年同期比3.6%減)、営業利益は39,802千円(前年同期比684.6%増)、経常利益は35,012千円(前年同期比441.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は33,404千円(前年同期比7.4%増)となりました。

セグメント別の経営成績については、以下のとおりです。

<保育事業>

当社グループの基幹事業である保育事業については、園児の充足率が前年同水準で推移しました。人件費をはじめ、きめ細かい経費コントロールにより売上高は546,326千円(前年同期比0.3%減)となりました。一方、セグメント利益(営業利益)は27,681千円(前年同期比234.0%増)となりました。

<ビルメンテナンス事業>

ビルメンテナンス事業については、主にリフォームの受注減により、売上高は59,721千円(前年同期比24.8%減)となりました。一方、セグメント利益(営業利益)は6,469千円(前年同期は営業損失3,029千円)となりました。

<コンサルティング等事業>

コンサルティング等事業については、保育所開設コンサル等がありましたが、売上高は3,496千円(前年同期比26.5%減)となり、セグメント利益(営業利益)は446千円(前年同期比25.7%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ45,612千円減少し、745,329千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ24,024千円減少し、202,929千円となりました。これは主に、現金及び預金が19,928千円減少したことに加え、売掛金が3,636千円減少したことなどによるものです。固定資産の残高につきましては、前連結会計年度末に比べ21,589千円減少し、542,399千円となりました。これは主に、減価償却費の計上により有形固定資産が減少したことや、のれん償却の影響によるものです。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ79,016千円減少し、623,363千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ38,265千円減少し、278,204千円となりました。これは主に、未払金が22,190千円減少したことや、未払法人税等が11,420千円減少したことなどによるものです。固定負債の残高につきましては、前連結会計年度末に比べ40,751千円減少し、345,159千円となりました。これは主に、長期借入金が40,150千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ33,404千円増加し、121,965千円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益33,404千円を計上したことによるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は121,730千円(前年同期比23,355千円減)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により、12,885千円の支出となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益46,909千円、減価償却費18,250千円、売上債権の減少額6,979千円、のれん償却額3,062千円であります。一方、支出の主な内訳は、補助金収入11,897千円、仕入債務の減少額4,258千円、法人税等の支払額24,935千円、その他資産・負債の減少額48,458千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により、10,793千円の収入となりました。収入の主な内訳は、補助金の受取額11,897千円、敷金返還による収入379千円であります。一方、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出190千円、無形固定資産の取得による支出168千円、保険積立金の積立による支出1,116千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により、17,835千円の支出となりました。収入の内訳は、短期借入金の純増加額25,490千円であります。一方、支出の内訳は、長期借入金の返済による支出43,325千円であります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年8月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	141,658	121,730
売掛金	40,240	36,604
完成工事未収入金	3,343	—
原材料及び貯蔵品	1,880	1,928
その他	39,830	42,665
流動資産合計	226,953	202,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	418,390	410,468
土地	47,359	47,359
その他(純額)	37,041	26,716
有形固定資産合計	502,791	484,545
無形固定資産		
ソフトウェア	3,211	2,684
のれん	8,677	5,615
無形固定資産合計	11,888	8,299
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,519	1,528
その他	47,788	48,026
投資その他の資産合計	49,307	49,554
固定資産合計	563,988	542,399
資産合計	790,941	745,329
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,923	7,665
短期借入金	6,000	31,490
1年以内返済予定長期借入金	92,306	89,131
未払法人税等	24,901	13,481
契約負債	26,171	15,699
未払金	86,866	64,676
賞与引当金	30,277	31,823
その他	38,022	24,235
流動負債合計	316,469	278,204
固定負債		
長期借入金	332,910	292,760
資産除去債務	50,219	50,411
その他	2,780	1,987
固定負債合計	385,910	345,159
負債合計	702,379	623,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,500	47,500
資本剰余金	75,296	75,296
利益剰余金	△34,234	△830
株主資本合計	88,562	121,965
純資産合計	88,562	121,965
負債純資産合計	790,941	745,329

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	632,197	609,543
売上原価	392,068	355,684
売上総利益	240,128	253,858
販売費及び一般管理費	235,055	214,056
営業利益	5,073	39,802
営業外収益		
助成金収入	1,732	719
雑収入	3,308	1,765
その他	25	122
営業外収益合計	5,067	2,607
営業外費用		
支払利息	3,673	3,400
雑損失	—	3,996
営業外費用合計	3,673	7,397
経常利益	6,467	35,012
特別利益		
補助金収入	32,454	11,897
特別利益合計	32,454	11,897
税金等調整前中間純利益	38,921	46,909
法人税等	7,815	13,505
中間純利益	31,105	33,404
親会社株主に帰属する中間純利益	31,105	33,404

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
中間純利益	31,105	33,404
中間包括利益	31,105	33,404
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	31,105	33,404

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計額
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	47,500	75,296	△94,800	27,995	27,995
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益			31,105	31,105	31,105
当中間期変動額合計			31,105	31,105	31,105
当中間期末残高	47,500	75,296	△63,695	59,101	59,101

当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計額
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	47,500	75,296	△34,234	88,562	88,562
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益			33,404	33,404	33,404
当中間期変動額合計			33,404	33,404	33,404
当中間期末残高	47,500	75,296	△830	121,965	121,965

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	38,921	46,909
減価償却費	17,676	18,250
のれん償却額	3,062	3,062
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,645	1,545
受取利息及び受取配当金	△25	△122
支払利息	3,673	3,400
補助金収入	△32,454	△11,897
売上債権の増減額 (△は増加)	14,149	6,979
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,338	△47
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,854	△4,258
その他	△10,624	△48,458
小計	22,217	15,364
利息及び配当金の受取額	25	122
利息の支払額	△3,711	△3,437
法人税等の支払額	△1,411	△24,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,119	△12,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,654	△190
無形固定資産の取得による支出	△432	△168
敷金差入による支出	△2,139	△8
敷金返還による収入	295	379
保険積立金の積立による支出	△1,286	△1,116
保険積立金の積立解約による収入	347	—
補助金の受取額	32,454	11,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,416	10,793
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	29,000	25,490
長期借入金の返済による支出	△51,492	△43,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,492	△17,835
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,789	△19,927
現金及び現金同等物の期首残高	153,876	141,658
現金及び現金同等物の中間期末残高	145,086	121,730

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用(法人税等)の算定方法)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該実効税率を乗じて計算する簡便的な方法を採用しております。

(セグメント情報の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1, 2	合計 (注) 3
	保育事業	ビルメンテ ナンス事業	コンサルテ ィング等事 業			
売上高						
顧客の契約から生じる収益	548,012	79,429	4,755	632,197	—	632,197
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	548,012	79,429	4,755	632,197	—	632,197
セグメント間の内部売上高	12,651	3,665	9,750	26,066	△26,066	—
計	560,663	83,094	14,505	658,263	△26,066	632,197
セグメント利益又は損失(△)	8,317	△3,029	418	5,706	△632	5,073
セグメント資産	726,035	60,061	53,300	839,397	△42,129	797,268
その他の項目						
減価償却費	16,393	500	1,283	18,177	△501	17,676
のれん償却額	—	1,343	1,719	3,062	—	3,062
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	32,654	—	—	32,654	432	33,087

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間投資取引消去及び全社費用の金額が含まれております。全社費用は主に販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び全社資産の金額10,533千円が含まれております。全社資産は、主に、(株)ぼすとめいとホールディングスの資産であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1, 2	合計 (注) 3
	保育事業	ビルメンテ ナンス事業	コンサルテ ィング等事 業			
売上高						
顧客の契約から生じる収益	546,326	59,721	3,496	609,543	—	609,543
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	546,326	59,721	3,496	609,543	—	609,543
セグメント間の内部売上高	7,650	4,205	20,196	32,051	△32,051	—
計	553,976	63,926	23,692	641,595	△32,051	609,543
セグメント利益又は損失(△)	27,681	6,469	446	34,598	5,204	39,802
セグメント資産	674,059	52,796	53,465	780,322	△34,992	745,329
その他の項目						
減価償却費	16,581	348	1,256	18,186	64	18,250
のれん償却額	—	1,343	1,719	3,062	—	3,062
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,810	—	—	2,810	168	2,978

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間投資取引消去及び全社費用の金額が含まれております。全社費用は主に販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引の消去及び全社資産15,877千円が含まれております。全社資産は、主に、(株)ぽすとめいとホールディングスの保有資産であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。